

第18回 盛岡市民演劇賞 観客賞投票結果

投票受付期間：令和2年4月1日(水) 9:00～令和2年7月12日(日) 21:30まで

投票総数：29票(うち有効票数28票)

盛岡市民演劇賞実施要綱第5の(2)―観客賞投票要領に基づき、観客賞は成立しましたことをご報告いたします。

公演団体	公演名	獲得票数	推薦理由
演劇ユニットせのび	「ハロー！エチオピア」 「ロマンス」	4票	◇起承転結の転でとても驚かされました。途中までの伏線を綺麗に回収していて、完成度の高いお話だと思いました。役者の方々の話し方ひとつ一つにも工夫が見られ、短い時間でも伝えたいことがはっきりとわかる作品でした。 ◇現在のように人が物理的・社会的に距離を取って生きなければならない時代には、「せのび」が紡ぐ、人の心理的距離を描く演劇を想う事が大切なのだと思います。 ◇作劇、演出のセンスが抜きん出ている。演劇のもつ力をストレートに感じられる。 ◇この劇を見たとき、日々積み重なった心のぎこちなさが溶かされる思いでした。
岩手大学劇団かっぱ	オボテテルの涙	4票	◇コロナによる中止が相次ぐ中で決行された公演で、舞台のボルテージが高かった。幻想性の高い世界でありながら現代的な家族問題も組み込まれ、引き込まれた。 ◇今回見たものの中だと、とても熱意と貪欲さと、座組が最も一丸となった勇ましさを感じた。 ◇「学生演劇」というジャンルの中でも頭一つ抜けていて、引退公演として卒業の世代とこれからの世代との実力も差があるわけではなく全体としてまとまっていてとても良かったので。 ◇幻想的でメルヘンチックでグロテスクで爆発的なお芝居でした。爛れているのに爽やかで、使えるもの全て使って演じ続ける役者たちも、笑い泣き悶えながらつくっている姿が目に見えかぶような脚本・演出も、満杯まで情報が詰め込まれつつ機能的な舞台装置も、あれもこれも本当に素晴らしかったです。
劇団ちりぢり	劇団ちりぢりは令和を認めない	3票	◇昭和があり平成すぎて令和になった今の感じが何だか切ない忘れ物を思い出して、天皇とか生きるとか希望があるのかとか忘れてたから不思議な空間を体感出来ました。最終的に結論は観客に丸投げで沢山の宿題をまだ正解せずくすぶって未だに喉にささる魚の骨のないずさが残って気になる。 ◇奇抜さに気を取られてしまうが、特に脚本の構成が秀逸。演出も役者も非常に良く、支離滅裂に見えて実のところ緻密。もう一度観たい。 ◇俳優賞にライナー・ノーツで人魚姫役を見事に演じた相良さんを推薦します。瑞々しい表情、豊かな表現には目を見張るものがありました。 ◇劇団ちりぢりの真面目たる観るものを飽きさせないアナーキーな躍動感と展開。題材として取り上げて作り上げた送り手側も勿論ですが、それに応えて上演の場を提供した盛岡演劇界、足を運んだ観客。丑寅魂。合掌。
ライナー・ノーツ	雪ぐ	3票	◇今までのライナー・ノーツの作品の中で一番おもしろかった。 ◇役者、スタッフ全て良かった。こういう本を書ける脚本家は盛岡にそうそういないと思う。彼の未熟さと発展途上だという意気込み・決意と創作に対するリビドーが融合して他の誰にも作り出せない作品になったと思う。 ◇劇作として素晴らしかったから。
現代時報	左首に愛してる(読点は付けない)	2票	◇純粋なストーリーで、久しぶりに涙が溢れたから。 ◇見た作品の中で一番記憶に残っているから。
WIREWORK	WIREWORKの宇宙大作戦O	2票	◇実は社会問題となっている事柄がストーリーに多数織り込んであるのに、深刻さ、説教臭さが全くなく、どこまでも笑えて楽しめるエンタメに仕上げた脚本と演出が見事。 ◇とにかく楽しかった！これに尽きる。パンチの効いた登場人物達が織り成すエンターテインメント。コミカルな展開のなかに明確なテーマ性がありながら、前面に押し出さずあくまで仄めかす程度に留め、コメディとして突き抜けたバランス感覚も好印象。シナリオの魅力をさりげなく、しかし的確に支えた各種スタッフワークにも驚かされた。
カンザスハリケーン	暁に龍は征く	2票	◇空間に圧倒された。 ◇ドストライクでした。お話も演者の演技も素敵だったのですが、ど真ん中の花道とか舞台美術最高でした。全ステ出来ず、2方向からしか観れなかったのが今でも心残りです。何回でも観たいお芝居でした。
スワンポート	Hello, space.	2票	◇物語本編に言葉としては出てこないけれど、語らずとも滲み出てくるキャラクターそれぞれの背景にあるそれぞれの人生。人物像がしっかりと感じ取れる設定が秀逸だった。 ◇キャラクターの作り込みが素晴らしい。不器用さ、弱さから、息遣いを感じる程のリアリティが滲みます。かつ物語としてのまとまりもあります。いま、盛岡でここまで質の高い群像劇を描けるのは藤原さつきだけと感じます。
岩手県立大学 劇団ちゃねる	Cosmic embryo O	1票	◇SF作品だが、新しいテクノロジーや機械が続々と出るのではなく、宇宙船で何世紀も別の星へ飛び続ける中で起きる人々の社会の矛盾や歪み、人々の心情の変化を描いた点が非常に印象深かった。私が「SF作品とはこうあって欲しい」と思っていたものにドンピシャの作品だったので選ばせていただきました。
もりげき八時の芝居小屋 第165回 八時の芝居制作委員会 プロデュース	愛のメニューをはんぶんこ ～ファミレス・ラブストーリー～	1票	◇よく考えれば重いテーマだったが、軽妙なテンポで進む物語・すとんと腑に落ちるストーリーにより、観終わってからも胸が軽く、他の作品とは違う世界観が感じられ心地良かったから。
べるちゃねっば企画 岩手大学劇団かっぱ	ムーンナイト・オブ・ザ・リビング デッド	1票	◇後から色々突込み所はあるけれども、観て、唯々おもしろかったです。
ライナー・ノーツ	人魚姫	1票	◇美しさと醜さ、そして新しさに引き込まれました。
旋風の劇場 Vol.1	肴町右往左往物語	1票	◇感動した
おでって短編シアターvol.1	岸田國士短編戯曲公演 「新年狂想曲」「恋愛恐怖症」	1票	◇岸田國士の戯曲を読んでもあまり面白かったことがありませんでしたが、今回の舞台を観たらとても面白かったです。筋書や登場人物の心情も全然古いと思わず、スリリングだとさえ思いました。舞台として肉付けされるってこういうことなんだと感心させられました。